

# 食事作法（前）：食事の前と最中

：

明：言者ムハンマドの いた良いマナ。

目：[事崇行とそのイスラム的モラルと](#)

より：ア イシャ ステイシ

曰18 Nov 2013

集日 18 Nov 2013

“????????????????????????”?????51?56?



イスラムという宗教は、人生の包括的な です。それは、肉体的 感情的 精神的な分野に区切られてはおらず、人生の全ての 面は、一つの目的を 成するために 一されます。その目的とは一体どういうもので、人生の意味を知ることなんて出来るのかですって？もちろんです！イスラムは、人生の目的とは唯一なる真の神である、私たちの 造主を 崇することであるということを非常に明 にします。私たちの存在に意 を与えるものは、私たちの行 がいかに壮大なもの、または些末なものであれ、それを容易に崇行 することが出来るという理解です。人生の日常において行われるあらゆる行 は、ただ神を称し、かれのご 悅を得ようとする意 を持つだけで、崇行 としての地位を得ることが出来るのです。

イスラムは指を示すことにより、神への想念を容易なものとします。それは、人生とは崇であり、崇が人生の意であることを丁かつ中庸な方法で教えます。食事にも、それを日常的な崇へとその地位を引き上げる礼作法が存在します。食べ物は、私たちの日常生活で大きな役割を果たしています。私たちがい物、料理、食事に多大なると力、そして出をするため、それらの世俗的行をするにする崇行にえることは理に叶ったことです。言者ムハンマドの言は、食事をにする行にさせる、指と助言にちたものです。

生管理はイスラムにおいて重要なものです。ムスリムは礼に立って神へと向き合う前に自身を化しなければならないだけでなく、自身の身体とその周についても常に注意をわなければなりません。言者ムハンマド（神の慈悲と祝福あれ）は、私たちの身体には特定の利があり、その一つは常に清しさが保たれていることであると述べています。私たちの身体は神による信であり、不な境に住むことは、病の原因となります。それゆえ食事の支度をする前は、食べ物、支度をする所、そして手が清であることがにされなければなりません。

ムスリムはあらゆる行の前には神の御名を唱えて始しますが、食事もその例外ではありません。 言者ムハンマド（神の慈悲と祝福あれ）はこう言っています。

イスラムが中庸の生き方であることを忘れず、神が私たちに供してくださった美味しい食べ物を私たち自ら禁じたりしないことは、重要です。食事にするイスラム的指針は、その殆どを言者ムハンマドにまつわる承から学び取ることが出来ます。

病や怪我などの理由がない限り、ムスリムは右手で食べることがされています。左手は、身体の不<sup>可</sup>能性を取り除くときに使用され、右手は食事、他人に物を渡すとき、あるいは握手をするときに使われます。魔は左手で食事をするため、言者ムハンマドは彼の教友たちに、魔と似通ったことは、それが何であれ行わないに助言しています。

言者ムハンマドの教友の一人、ウマル ブン アビ サラマは、食事作法にまつわる逸をえています。彼はこう言いました。

“??”3

皆が共通の皿を んで食事をする状 で、自分から一番近いところから手をつけることは 、良い食事作法であるとされます。他人の前を遮ったり、一番美味しそうな部分を り好みしたりすることは、他人を不快にさせたり、自分を感 しない人、あるいは 欲な人に せます。食事作法の一つには、いくらその食事が食欲をそそるようなものであれ、度に 取することが含まれます。

言者ムハンマドは、 せて健康でいることは、肥 怠惰 非生 的であるよりも良いことであると述べています。

“??”4

食事作法に しては、多くの指 が示されています。しかし、それぞれの行 がいかに取るに足らないように えたとしても、他人に敬意をもって接し、自らの行 がいかに神をご 悅させるか否かについて考えることは、食事を崇 行 へと えるのです。 り きの食事を良 いタイミングでもてなし、来客に敬意を示すことは 言者ムハンマドの でした。客はも てなしに え、それを味わい、もてなした に祝福を送り、彼のために祈ることができます。教友アナスは、ある サアド ブン ウバ ダが 言者ムハンマドにパンと油を差し出した 、 言者がこう答えたことを えています。

“??”5

もてなした に祝福を送ることは良きマナ の一つであり、 言者ムハンマドは追 者たちに 、神のもたらした食べ物は祝福に ち溢れていることを明白にしています。彼は私たち が感 の 持ちを忘れないよう、 いています。 言者ムハンマドは、その祝福を逃さないた め、そして 魔に食事をさせないため、床に落としてしまった食べ物であれ、それを拾 い、埃を って食べるよう助言しています。

食事作法には、一人よりかは集 で食事すること、神の みを共有すること、また指3本を 用いて食べ、食事中には身体を寄りかからせず、食事 には食べ物の付いた指を舐めと

り、つばを吐いたり、鼻をかんだりしないことなどが含まれます。また、食べ物を称することもイスラーム的マナの一つです。食べ物にケチを付けることは不切であり、嫌いなものには手を付けずにいることです。

信仰者は食事作法にをつけることにより、祝福とを受け取りやすくします。神は肉、果物や野菜など、あらゆるの美味しい食べ物を用意されました。かれはこのように述べられています。

“??”??????7?31?

---

#### Footnotes:

1 ティルミズィ、アブ・ダウド、イブン・マジャ

2 サヒ・フ・ムスリム

3 サヒ・フ・ブハリ、サヒ・フ・ムスリム

4 イブン・マジャ

5 アブ・ダウド

この事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/1960>

著作 2006-2015 断を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断を禁じます。